

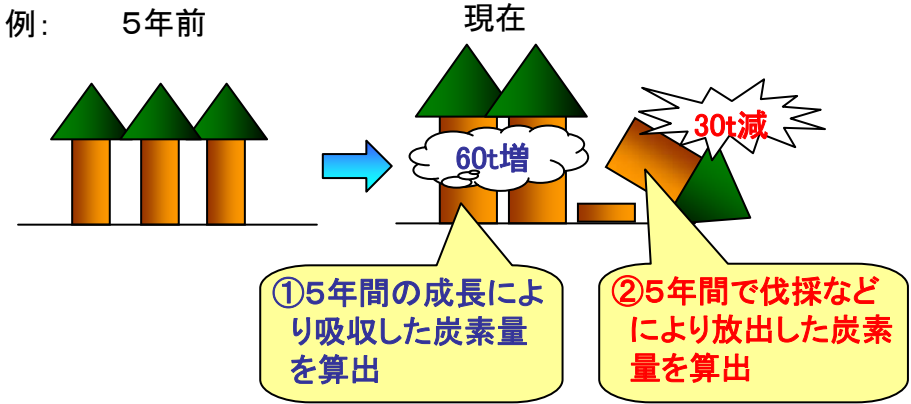
森林(林木)による炭素吸収量の2つの計算方法

○森林(林木のみを対象)による炭素吸収量の算出については、次の2つの方法が推奨されています。

- ・ **デフォルト法**(一定期間における成長により吸収した炭素量から伐採などにより排出した炭素量を差し引く方法)
- ・ **蓄積変化法**(一定期間における期末の森林と期首の森林の蓄積(炭素相当量に変換)の差から算出する方法)

○我が国では、森林簿などの行政情報を用いれば森林の蓄積が算定できるため、「蓄積変化法」を選択しました。

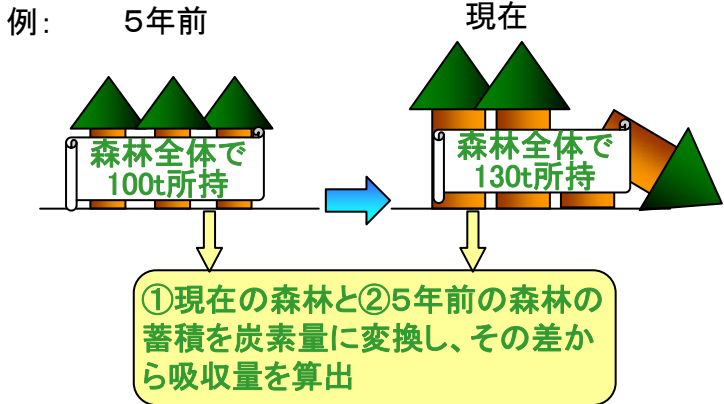
デフォルト法



(吸収量)

$$\begin{aligned}
 &= (\text{①成長により吸収した炭素量}) - (\text{②伐採などにより放出した炭素量}) \\
 &= \quad \quad \quad 60\text{t} \quad \quad \quad - \quad \quad \quad 30\text{t} \\
 &= 30\text{t}
 \end{aligned}$$

蓄積変化法



(吸収量)

$$\begin{aligned}
 &= (\text{①現在の森林の蓄積を炭素量に変換した値}) \\
 &\quad - (\text{②5年前の森林の蓄積を炭素量に変換した値}) \\
 &= \quad \quad \quad 130\text{t} \quad \quad \quad - \quad \quad \quad 100\text{t} \\
 &= 30\text{t}
 \end{aligned}$$

我が国ではこの方法を選択

